

市町村への
相談・通報件数

650件

* 県への相談等を除く
主な通報・届出者

- 本人 95件
- 警察 406件
- 当該施設・事業所の職員 43件
- 相談支援専門員 46件
- 家族・親族・成年後見人 12件

市町村

事実確認の状況 (519件)

* 複数の市町村が該当する場合、それぞれ計上している

事実確認調査を行った事例

- 虐待の事実が認められた事例 117件
- 虐待の事実が認められなかった事例 247件
- 虐待の事実の判断に至らなかった事例 114件

事実確認調査を行っていない事例

- 相談・通報・届出を受理した時点で、明らかに虐待でないと判断した事例 97件
- 後日、事実確認調査を予定している等 21件
- その他 8件

虐待の事実が認められなかった・
判断に至らなかった事例に関する支援

市町村が講じた支援状況

- 本人や養護者に対する傾聴・助言 161件
- " 情報提供・他部署へのつなぎ 41件
- 新たに障害福祉サービスを利用 11件
- 障害福祉サービス等の利用計画の見直し 10件
- 障害福祉サービス以外のサービス利用 2件
- 定期的な見守りの実施 28件

虐待者(126人)

- 性別
男性(74人) 女性(52人)
- 被虐待者から見た続柄
・ 父(21人) ・ 母(33人)
・ 夫(31人) ・ 妻(10人)
・ 子(7人) ・ 兄弟、姉妹(10人)
・ 祖父母(2人) ・ その他(12人)
- 年齢
・ ~29歳(9人)
・ 30歳~39歳(8人)
・ 40歳~49歳(26人)
・ 50歳~59歳(43人)
・ 60歳~74歳(26人)
・ 75歳以上(13人)
・ 不明(1人)

虐待行為の類型(複数回答)

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
件数	92	2	29	12	5

虐待の背景(重複あり)

虐待者の介護疲れ	30
虐待者の知識・情報不足	31
虐待者の介護等に関する不安・悩み・ストレス	30
虐待と認識していない	35
虐待者の障害、精神疾患や抑うつ状態	17
被虐待者の介護度・支援度の高さ	32
被虐待者の行動障害	24

被虐待者(119人)

- 性別 男性(41人) 女性(78人)
不明(0人)
- 年齢
・ 20歳未満(5人)
・ 20歳~29歳(26人)
・ 30歳~39歳(21人)
・ 40歳~49歳(22人)
・ 50歳~59歳(30人)
・ 60歳以上(14人)
・ 不明(1人)
- 障害種別(重複障害あり)
・ 身体障害(18人) ・ 知的障害(39人)
・ 精神障害(69人) ・ 発達障害(2人)
・ 難病・その他(0人)